

# 楷の木



学校の様子は、ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

東出雲中学校

3学期がスタートしました。

1月9日(火)より3学期がスタートしました。そして新しい年「令和6年」もスタートしました。しかし、今年は新年早々、大きな災害や事故が発生し、心が落ち着かず、不安な気持ちでお正月を過ごした人も多かったのではないのでしょうか。特に、石川県能登地方を襲った最大震度7の能登半島地震では、テレビから聞こえる「津波から逃げてください」のアナウンスに、東日本大震災を思い出すとともに被災された方々の無事を祈りました。また、私自身も赴任地で津波を経験したことがあります。津波の恐ろしさと自然災害は時を選ばないことを実体験し、今回の地震災害を通して改めて「命の大切さ」について考えました。残念ながら、未だに多くの犠牲者が報告されています。このたびの地震や災害でお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心からお見舞い申しあげ、被災地の皆様の安全と一刻も早い復旧をお祈りしたいと思います。

さて、新しい年を迎えるにあたり、生徒の皆さんは自分の目標や決意を新たにしたいと思えます。3学期はとても大切な学期です。全校生徒の皆さんが、次のステージへ着実に歩いていける学期になればと思います。我々教職員一同、東出雲中学校の教育に全力で取り組んでいきますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## <3学期始業式校長式辞より>

(前略)令和6年を、みなさんは新たな決意をもって迎えたことと思います。昨年末に、世界中でもっとも有名な日本人と言えば、メジャーリーガーの大谷翔平選手でした。投手とバッターの二刀流の選手として、また、日本人が大リーグでホームラン王になるなど異次元の活躍をしました。しかし、その大谷選手も、これまで決して楽な道を歩んできたのではなく、また、成功体験ばかりではなかったということが彼のインタビューの言葉から伝わってきます。

「悔しい経験がないと、嬉しい経験ありません。」「成功するとか失敗するとか僕には関係ありません。それをやってみる事の方が大切です。」「無理だと思わないことが一番大切だと思います。無理だと思ったらそこで終わりですから。」と話しています。

様々な努力と経験を積み重ねてきたからこそ言える言葉であり、常に大谷選手は言動に自分の考えをもっていることが伺えます。日本とアメリカの環境の違いや体格差、言葉の壁など、たくさんの課題を乗り越えて世界のトップ選手になることは、私たちの想像を超える努力と信念があって成し遂げられることだと思います。「努力は人を裏切らない。」努力し続けることの大切さ、自分のゆるぎない決意としっかりとした準備によって、自分の立てた目標が達成できるということをみなさんもしっかりと考え、実行してほしいと思います。(中略)

1年生は、2年生に進級します。4月からは後輩も入学し先輩となります。後輩に目標とされる先輩となるよう準備をしっかり行ってください。

2年生は、最高学年に向けて東出雲中学校のリーダーとなって活躍することを期待しています。色々な場面で、自分が何をどうしていかなければならないかを少しずつそして具体的に考え、行動してみてください。

3年生の皆さんは中学生生活最後の学期となります。卒業まで残り42日です。1・2年生に対し最上級生とはこう在るべきだという良いお手本を、生活の場面でも勉強の場面でも見せてほしいと思います。そして、自分が進むべき道に向け最高の力を出し切ってくれることを期待しています。

最後に、充実した3学期にするためにも、安心・安全な学校生活を今一度思い返してください。一人一人が「自分がされて嫌なことは友達にも、地域でも絶対にしない」ということ、自分の行いに責任をもち、何事にも積極的に行動することは3学期も努力してほしいと思います。これから寒さが厳しくなりますが、健康には十分気をつけ、全校生徒のみなさんが、より一層自分を成長させる学期となることを期待しています。



## 任命式を行いました。

12月21日(木)に2年生を主体とする生徒会執行部を、1月12日(金)に3学期の学級役員の任命式を行いました。1月12日に体育館において開催した任命式には、今学期から生徒会執行部と各クラスのすべての委員が参加しました。はじめに、校長から学級委員代表へ、続いて生徒会長から委員代表へ任命書を交付しました。生徒会役員と各専門委員会委員長・副委員長は次のとおりです。

### <生徒会執行部>

#### ◎事務局

会長 北村有輝斗(2年3組)  
副会長 石原 光恭(2年2組) ・得能 風香(2年2組)  
書記 山田 湊人(2年5組) ・荒瀬 七虹(1年2組)  
会計 小山恵里佳(2年1組) ・太田 岳杜(1年3組)

#### ◎専門委員会

生活委員長 岩田 真武(2年2組) ・副委員長 曾田 春香(2年2組)  
保体委員長 板倉 大翔(2年5組) ・副委員長 内田 はな(2年5組)  
給食委員長 長谷川典宏(2年4組) ・副委員長 市場 杏実(2年1組)  
図書委員長 金崎 美羽(2年1組) ・副委員長 牧野 慶(2年4組)  
美化委員長 朝倉 美砂(2年3組) ・副委員長 吉田 煌(2年5組)  
報道委員長 村上 香菜(2年4組) ・副委員長 小出 剛史(2年2組)

#### ◎代議員会

議長 吉儀 奏人(2年2組) ・副議長 永島 希美(2年3組)

任命式の最後に、校長より執行部や各委員に三つのお願いをしました。一つ目に、学級の代表者として『自覚をもって行動をすること』、二つ目に『新しい考えをもちながら挑戦すること』、そして三つ目に『自分の役割に責任をもって取り組むこと』を話しました。生徒会や学級役員が新たにスタートします。代表者だけが頑張っても学校生活は良いものにはなりません。全校の皆さんも新しいアイデアや意見を出し協力しながら、全校が一体となって主体的な取り組みを進めること、そして、だれもが安心して過ごしやすい学校づくりをみんなで頑張りましょう。



## 美術部・吹奏楽部が活躍しました！

このたび、令和5年度JA共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクールにおいて、美術部2年生の村上香菜さんが、『農林水産大臣賞』を受賞しました。12月15日(金)午後、鳥根県農業協同組合くびき地区本部常務理事本部長の越野浩昭様他4名が来校され、村上さんへの受賞伝達並びに東出雲中学校へ優秀学校賞受賞の連絡をいただきました。ありがとうございました。なお、表彰式は2月に東京で開催されます。村上さん、受賞おめでとうございます。

また、12月23日(土)に大田市民会館において、第47回全日本アンサンブルコンテスト鳥根県大会が開催され、本校吹奏楽部生徒が出場しました。結果は『金賞』を受賞しましたが、惜しくも中国大会への出場は叶いませんでした。市民会館のホールいっぱい音を響かせ、堂々とそして息を合わせたとても素晴らしい演奏を披露してくれました。吹奏楽部のみんな、次の目標に向けしっかりと頑張ってください。



## 『留守番応答電話の試験的運用』について

市内小中学校では、教職員の長時間勤務の改善に向けた取り組みの一環として、留守番応答電話(音声ガイダンス対応・録音機能なし)を導入し、順次運用を始めています。本校にもこのたび機器の設置が完了し、下記のとおり試験的運用期間を経て3月より正式な運用を開始します。保護者、地域の皆様には、今後の対応につきましてご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 試験的運用期間 令和6年1月15日(月)～令和6年2月15日(木)
- 2 留守番応答電話の設定時間 (1)平日(授業日) 午後6時～翌日 午前7時30分  
(2)夏休みなどの長期休業期間 午後5時～翌日 午前8時30分  
(3)土日・祝日・学校閉庁日 終日

### 3 設定時間内の具体的な対応について

- (1)設定時間内に学校へ電話をかけられてもつながりません。(応答メッセージが流れます。)
- (2)緊急を要する場合は、110番(警察)等へご連絡ください。なお、翌日以降に改めて学校へご連絡ください。
- (3)設定時間内に、学校から保護者の皆様にご連絡をすることがあります。その際、電話がつかない時には着信履歴が残りますが、学校へのかけなおしは不要です。時間を空けて、再度学校より電話をかけさせていただきます。
- (4)ただし、時間や状況によっては、その日のうちに電話がつかない場合がありますのでご了承ください。なお、その際は、翌日以降に学校から保護者の皆様へ再度電話連絡をさせていただきます。
- (5)学校からの配布文書を含め、詳細については東出雲中学校HPIにも掲載しておりますのでご覧ください。

